

治山・林道工事等の積算基準の適用について（お知らせ）

令和 7 年 12 月 26 日
広島県農林水産局

広島県が発注する治山・林道工事等の積算基準の適用についてお知らせします。

1 適用する積算基準等と適用日

- (1) ア「森林整備保全事業標準歩掛の制定について」（平成 11 年 4 月 1 日付け 11 林野計第 133 号林野庁長官通知）一部改正新旧対照表 正誤表（別紙 1）

イ 適用日

「総括情報表」の「単価適用日」が「08.01.01」のものから適用します。

- (2) ア「森林整備保全事業における施工パッケージ型積算方式の試行の実施について」（平成 28 年 3 月 31 日付け 27 林野計第 351 号林野庁長官通知）正誤表（別紙 2）

イ 適用日

「総括情報表」の「単価適用日」が「07.10.01」のものから適用します。

2 その他

積算基準等の改正資料は、林野庁ホームページに掲載されています。

【林野庁ホームページ】

http://www.rinya.maff.go.jp/j/sekou/gijutu/sekisan_kijun.html

第 1 編 共通工 第 3 コンクリート工
3－5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 1 適用範囲

	改 正 後	現 行
誤	<p>1 適用範囲 (削る。)</p> <p>(1) 断面修復工（左官工法） コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む。） ・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む）を使用した施工 (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(2) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 断面修復工（左官工法）により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 なお、運搬距離が 60km を超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。</p>	<p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む。） (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

	改 正 後	現 行
正	<p>1 適用範囲 (削る。)</p> <p>(1) 断面修復工（左官工法） コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む。） ・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む。）を使用した施工 (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(2) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） 断面修復工（左官工法）により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 なお、運搬距離が 60km を超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。</p>	<p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における 1 構造物当たりの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む。） (注) 1 構造物とは、1 橋梁や 1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

第 1 編 共通工 第 3 コンクリート工
3－5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 2 施工概要 （注）

	改 正 後	現 行
誤	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。</p>	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 (新設) (新設)</p>

	改 正 後	現 行
正	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。</p>	<p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 (新設) (新設)</p>

第1編 共通工 第3 コンクリート工
3-5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 3 機種の選定

		改 正 後		現 行				
誤	3 機種の選定 コンクリート殻の運搬機械・規格は、次表を標準とする。			(新設)				
	表 3. 1 機種の選定							
	作業種別	名称	規格			単位	数量	摘要
	積込み及び運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t 積級			台	1	

		改 正 後		現 行										
正	<u>3 機種の選定</u> <u>コンクリート殻の運搬機械・規格は、次表を標準とする。</u>			(新設)										
	表 3. 1 機種の選定													
	<table><tr><th><u>作業種別</u></th><th><u>名称</u></th><th><u>規格</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>数量</u></th><th><u>摘要</u></th></tr><tr><td><u>積込み及び運搬</u></td><td><u>ダンプトラック</u></td><td><u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u></td><td><u>台</u></td><td><u>1</u></td><td></td></tr></table>					<u>作業種別</u>	<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>	<u>積込み及び運搬</u>	<u>ダンプトラック</u>	<u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u>
<u>作業種別</u>	<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>									
<u>積込み及び運搬</u>	<u>ダンプトラック</u>	<u>オノロード・ディーゼル</u> <u>4t 積級</u>	<u>台</u>	<u>1</u>										

第1編 共通工 第3 コンクリート工
3-5 構造物補修工（断面修復工（左官工法）） 4 施工歩掛 （3） コンクリート殻積込（断面修復工）

誤

改正後

(3) コンクリート殻積込（断面修復工）

1) 日当り編成人員

コンクリート殻積込の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表4. 5 日当り編成人員

名称	単位	数量
普通作業員	人	1

2) 日当り施工量

コンクリート殻積込の日当り施工量は、次表を標準とする。

表4. 6 日当り施工量

作業種別	単位	数量
人力積込み	人	7.7

現行

(新設)

正

改 正 後

(3) コンクリート殻積込（断面修復工）

1) 日当たり編成人員
コンクリート殻積込の日当たり編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 5 日当たり編成人員

名称	単位	数量
普通作業員	人	1

2) 日当たり施工量
コンクリート殻積込の日当たり施工量は、次表を標準とする。

表 4. 6 日当たり施工量

作業種別	単位	数量
人力積込み	人	7.7

現 行

(新設)

誤

改正後

(4) コンクリート殻運搬（断面修復工）

1) 運搬日数

ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4t 積級）による10 m³当り運搬日数は、次表による。

表4. 7 殻運搬日数

(10 m³当り)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：無し								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下				
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50				

表4. 8 殻運搬日数

(10 m³当り)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：有り								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下		
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		

(注) 1 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。

2 D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。

3 運搬距離が 60km を超える場合は、別途考慮する。

4 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。

現行

(新設)

正

改

正

後

(4) コンクリート殻運搬（断面修復工）

1) 運搬日数

ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4t 積級）による10 m³当たり運搬日数は、次表による。

表4. 7 殻運搬日数

(10 m³当たり)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：無し								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下				
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50				

表4. 8 殻運搬日数

(10 m³当たり)

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
D I D 区間：有り								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下		
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		

(注) 1 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。

2 D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。

3 運搬距離が 60km を超える場合は、別途考慮する。

4 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。

現

行

(新設)

誤

改正後

(5) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）10 m³当日単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	1×10/D	表 4.5、表 4.6
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t 積級	日		表 3.1、表 4.7～表 4.8
諸雑費		式	1	
計				

(注) D：日当日施工量

現行

(新設)

正	改正後				現行		
	(5) コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）10 m ³ 当たり単価表				(新設)		
	名称	規格	単位	数量			摘要
	普通作業員		人	1×10/D			表 4.5、表 4.6
	ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t 積級	日				表 3.1、表 4.7～表 4.8
	諸雑費		式	1			
	計						
	(注) D：日当たり施工量						

	改 正 後	現 行
誤	<p>1 適用範囲</p> <p>盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））を設置、及びフィルター材（砕石等）を敷設する作業に適用する。なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材（砕石等）の敷設はフィルター層とする。</p> <p>（1） 適用出来る範囲</p> <p>① 水平排水材</p> <p>ア 現地発生土及び鉄丸釘等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 100mm 以上 600mm 以下、厚50mm 以下の場合。</p> <p>イ 帯状シート及び全透水型の場合。 ②</p> <p>フィルター層</p> <p>ア フィルター層（水平排水層）及びフィルター層（基盤排水層）の場合。</p> <p>イ フィルター層は厚 300mm 以上 500mm 以下の場合。</p> <p>（2） 適用出来ない範囲</p> <p>① 水平排水材</p> <p>ア 切盛境に設置する場合。</p> <p>イ 構造物背面のコンクリート面に設置する場合。</p> <p>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、水平排水材を設置する場合。</p> <p>エ 帯状排水材の全透水型（メッシュチューブ型）及び半透水型の場合。</p> <p>② フィルター層</p> <p>ア 排水層内に暗渠排水管を埋設する場合。</p> <p>イ 軟弱地盤処理工の場合。</p> <p>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、フィルター層を敷設する場合。</p>	(新設)

	改 正 後	現 行
正	<p><u>1 適用範囲</u></p> <p><u>盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））を設置、及びフィルター材（砕石等）を敷設する作業に適用する。なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材（砕石等）の敷設はフィルター層とする。</u></p> <p><u>（1） 適用できる範囲</u></p> <p><u>① 水平排水材</u></p> <p><u>ア 現地発生土及び鉄丸釘等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 100mm 以上 600mm 以下、厚50mm 以下の場合。</u></p> <p><u>イ 帯状シート及び全透水型の場合。 ②</u></p> <p><u>フィルター層</u></p> <p><u>ア フィルター層（水平排水層）及びフィルター層（基盤排水層）の場合。</u></p> <p><u>イ フィルター層は厚 300mm 以上 500mm 以下の場合。</u></p> <p><u>（2） 適用できない範囲</u></p> <p><u>① 水平排水材</u></p> <p><u>ア 切盛境に設置する場合。</u></p> <p><u>イ 構造物背面のコンクリート面に設置する場合。</u></p> <p><u>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、水平排水材を設置する場合。</u></p> <p><u>エ 帯状排水材の全透水型（メッシュチューブ型）及び半透水型の場合。</u></p> <p><u>② フィルター層</u></p> <p><u>ア 排水層内に暗渠排水管を埋設する場合。</u></p> <p><u>イ 軟弱地盤処理工の場合。</u></p> <p><u>ウ 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、フィルター層を敷設する場合。</u></p>	(新設)

	改 正 後	現 行																																				
誤	<p>3 施工歩掛</p> <p>（1） 水平排水材設置歩掛</p> <p>水平排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 1 水平排水材設置歩掛 (10m 当り)</p> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.04</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.13</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td>m</td><td>10.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <p>（注）1 歩掛は、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬を含む設置作業であり、盛土は含まない。</p> <p>2 水平排水材のロス率（重合せ及び切断ロス）は、+0.02 として上表に含まれている。</p> <p>3 諸雑費は、ハンマーの損料及び鉄丸釘等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。</p> <p>（2） フィルター層敷設歩掛</p> <p>フィルター層敷設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 2 フィルター層敷設歩掛 (10 m² 当り)</p> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>厚 300mm 以上 500mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.11</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.31</td></tr><tr><td>パ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>h</td><td>2.2</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td>m³</td><td>13</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <p>（注）1 歩掛は、運搬距離 40m 程度までの現場内小運搬を含む敷設作業であり、掘削及び盛土は含まない。</p> <p>2 フィルター材のロス率（材料ロス）は、+0.3 として上表に含まれている。</p> <p>3 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4 吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.04	普 通 作 業 員	〃	0.13	排 水 材	m	10.2	諸 雑 費 率	%	0.3	名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.11	特 殊 作 業 員	〃	0.06	普 通 作 業 員	〃	0.31	パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2	フ ィ ル タ ー 材	m ³	13	諸 雑 費 率	%	0.3	(新設)
名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.04																																				
普 通 作 業 員	〃	0.13																																				
排 水 材	m	10.2																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				
名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.11																																				
特 殊 作 業 員	〃	0.06																																				
普 通 作 業 員	〃	0.31																																				
パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2																																				
フ ィ ル タ ー 材	m ³	13																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				

	改 正 後	現 行																																				
正	<div>3 施工歩掛</div> <div>(1) 水平排水材設置歩掛</div> <div>水平排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</div> <div>表 3. 1 水平排水材設置歩掛 (10m 当たり)</div> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.04</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.13</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td>m</td><td>10.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <div>(注) 1 歩掛は、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬を含む設置作業であり、盛土は含まない。</div> <div>2 水平排水材のロス率（重合せ及び切断ロス）は、+0.02 として上表に含まれている。</div> <div>3 諸雑費は、ハンマーの損料及び鉄丸釘等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。</div> <div>(2) フィルター層敷設歩掛</div> <div>フィルター層敷設歩掛は、次表を標準とする。</div> <div>表 3. 2 フィルター層敷設歩掛 (10 m³ 当たり)</div> <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>厚 300mm 以上 500mm 以下</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.11</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.31</td></tr><tr><td>パ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>h</td><td>2.2</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td>m³</td><td>13</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.3</td></tr></table> <div>(注) 1 歩掛は、運搬距離 40m 程度までの現場内小運搬を含む敷設作業であり、掘削及び盛土は含まない。</div> <div>2 フィルター材のロス率（材料ロス）は、+0.3 として上表に含まれている。</div> <div>3 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</div> <div>4 吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。</div>	名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.04	普 通 作 業 員	〃	0.13	排 水 材	m	10.2	諸 雑 費 率	%	0.3	名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下	土 木 一 般 世 話 役	人	0.11	特 殊 作 業 員	〃	0.06	普 通 作 業 員	〃	0.31	パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2	フ ィ ル タ ー 材	m ³	13	諸 雑 費 率	%	0.3	(新設)
名 称	単 位	製品幅 100mm 以上 600mm 以下 厚 50mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.04																																				
普 通 作 業 員	〃	0.13																																				
排 水 材	m	10.2																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				
名 称	単 位	厚 300mm 以上 500mm 以下																																				
土 木 一 般 世 話 役	人	0.11																																				
特 殊 作 業 員	〃	0.06																																				
普 通 作 業 員	〃	0.31																																				
パ ッ ク ホ ウ 運 転	h	2.2																																				
フ ィ ル タ ー 材	m ³	13																																				
諸 雑 費 率	%	0.3																																				

誤

	改	正	後	現	行																																							
	4 単価表			(新設)																																								
	(1) 排水材設置 (水平排水材) 10m 当り 単価表																																											
	<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>〃 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計													
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																							
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1																																							
	普 通 作 業 員		〃		〃																																							
	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)																																							
	諸 雑 費		式	1	〃																																							
	計																																											
(2) フィルター層敷設 10m3 当り 単価表																																												
<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス 対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³) ・吊能 力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表 3.2 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス 対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³) ・吊能 力 2.9t	h		〃 機械損料	フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス 対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³) ・吊能 力 2.9t	h		〃 機械損料																																								
フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																								
計																																												
(3) 機械運転単価表																																												
<table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・ク レーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平 積 0.4 m³) ・吊能力 2.9t</td><td>機－1</td><td></td></tr></table>					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ク レーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平 積 0.4 m³) ・吊能力 2.9t	機－1																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																									
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ク レーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制) ・山積 0.5 m³ (平 積 0.4 m³) ・吊能力 2.9t	機－1																																										

正

	改 正 後	現 行																																							
4	<u>単価表</u>	(新設)																																							
	<u>(1) 排水材設置（水平排水材）10m 当たり 単価表</u>																																								
	<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>排 水 材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>〃 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計														
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																				
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.1																																				
	普 通 作 業 員		〃		〃																																				
	排 水 材		m		〃 10×(1+ロス率)																																				
	諸 雑 費		式	1	〃																																				
	計																																								
	<u>(2) フィルター層敷設 10m3 当たり 単価表</u>																																								
<table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>フ ィ ル タ ー 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表 3.2 10×(1+ロス率)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料	フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	〃	計					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																					
土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.2																																					
特 殊 作 業 員		〃		〃																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																					
バ ッ ク ホ ウ 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	h		〃 機械損料																																					
フ ィ ル タ ー 材		m³		表 3.2 10×(1+ロス率)																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																					
計																																									
<u>(3) 機械運転単価表</u>																																									
<table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t</td><td>機－1</td><td></td></tr></table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	機－1																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																						
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）・山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）・吊能力 2.9t	機－1																																							

誤

改

正

後

(4) ポンプ運転~~管理~~歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転~~管理~~歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転~~管理~~歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
(削る。)	(削る。)	(削る。)
世話役	0.04	0.04
普通作業員	0.05	0.05

備考 1 ～ 4 (略)

現

行

(4) ポンプ運転歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
特殊作業員	0.14	0.17
(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)

備考 1 ～ 4 (略)

正

改

正

後

(4) ポンプ運転~~管理~~歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転~~管理~~歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転~~管理~~歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
(削る。)	(削る。)	(削る。)
世話役	0.04	0.04
山林砂防工 (普通作業員)	0.05	0.05

備考 1～4 (略)

現

行

(4) ポンプ運転歩掛

1) (略)

2) 運転歩掛

ポンプの運転歩掛は、排水現場 1 箇所当たり、次表を標準とする。

ポンプ運転歩掛

(人／箇所・日)

名称	排水方法	
	作業時排水	常時排水
<u>特殊作業員</u>	<u>0.14</u>	<u>0.17</u>
(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)

備考 1～4 (略)

誤

改正後

(6) 単価表

1) (略)

2) ポンプ1日当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
(削る。)		(削る。)		(削る。)
世話役		人		(4)－2)
普通作業員		人		(4)－2)
発動発電機運転		日	1	(3)－2)
諸雑費		式	1	(4)－3)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機－16	燃料消費量→27.9（常時排水） 9.3（作業時排水） 賃料数量→1.08
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 15kVA 排出ガス対策型（第3次基準値）	機－16	燃料消費量→41.3（常時排水） 13.8（作業時排水） 賃料数量→1.55
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値）・クローラ型 クレーン機能付山積 0.8m3 (平積 0.6m3)2.9 t 吊	機－28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→121 機械賃料数量→1.09

現行

(6) 単価表

1) (略)

2) ポンプ1日当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		(4)－2)
(新設)		(新設)		(新設)
(新設)		(新設)		(新設)
発動発電機運転		日	1	(3)－2)
諸雑費		式	1	(4)－3)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機－16	燃料消費量→28（常時排水） 8.9（作業時排水） 賃料数量→1.1
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	機－16	燃料消費量→20（常時排水） 6.7（作業時排水） 賃料数量→1.1
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値）・クローラ型 クレーン機能付山積 0.8m3 (平積 0.6m3)2.9 t 吊	機－28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→40 機械賃料数量→1.00

正

改

正

後

(6) 単価表

1) (略)

2) ポンプ1日当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
(削る。)		(削る。)		(削る。)
世話役		人		(4)－2)
山林砂防工 (普通作業員)		人		(4)－2)
発動発電機運転		日	1	(3)－2)
諸雑費		式	1	(4)－3)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機－16	燃料消費量→27.9 (常時排水) 9.3 (作業時排水) 賃料数量→1.08
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 15kVA 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機－16	燃料消費量→41.3 (常時排水) 13.8 (作業時排水) 賃料数量→1.55
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 クレーン機能付山積 0.8m3 (平積 0.6m3)2.9 t 吊	機－28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→121 機械賃料数量→1.09

現

行

(6) 単価表

1) (略)

2) ポンプ1日当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		(4)－2)
(新設)		(新設)		(新設)
(新設)		(新設)		(新設)
発動発電機運転		日	1	(3)－2)
諸雑費		式	1	(4)－3)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機－16	燃料消費量→28 (常時排水) 8.9 (作業時排水) 賃料数量→1.1
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	機－16	燃料消費量→20 (常時排水) 6.7 (作業時排水) 賃料数量→1.1
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 クレーン機能付山積 0.8m3 (平積 0.6m3)2.9 t 吊	機－28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→40 機械賃料数量→1.00

	改 正 後	現 行
誤	<u>(2) 適用できない範囲</u> <u>① 雪寒仮囲いの屋根部材にパネル式のシステム上屋を使用する場合</u> <u>② Pタイプで設置高4 mを超える場合、及び小型構造物の場合</u>	(新設)

	改 正 後	現 行
正	<u>(2) 適用できない範囲</u> <u>① 雪寒仮囲いの屋根部材にパネル式のシステム上屋を使用する場合</u> <u>② Pタイプで設置高4 mを超える場合、及び小型構造物の場合</u>	(新設)

	改 正 後	現 行																		
誤	<u>(3) 仮囲い仮設材の費用</u> <u>雪寒仮囲いの仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。仮設材費用には清掃等の簡易な整備作業を含む。仮囲い仮設材の費用＝(L1+L2X)×A (円)</u> <u>L1、L2：賃料係数(表 4. 3)</u> <u>X：仮設材供用月数(月)</u> <u>A：仮囲いの面積 (m2)</u> <u>表4. 3 仮囲い仮設材の各賃料係数</u> <u>(1 m²当たり)</u> <table><tr><th>仮囲いのタイプ</th><th>L1</th><th>L2</th></tr><tr><td>Pタイプ</td><td>157</td><td>145</td></tr><tr><td>Wタイプ (枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>PWタイプ (枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>Wタイプ (枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr><tr><td>PWタイプ (枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr></table>	仮囲いのタイプ	L1	L2	Pタイプ	157	145	Wタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318	PWタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318	Wタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206	PWタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206	(新設)
仮囲いのタイプ	L1	L2																		
Pタイプ	157	145																		
Wタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318																		
PWタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318																		
Wタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206																		
PWタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206																		

	改 正 後	現 行																		
正	<u>(3) 仮囲い仮設材の費用</u> <u>雪寒仮囲いの仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。仮設材費用には清掃等の簡易な整備作業を含む。仮囲い仮設材の費用＝(L1+L2X)×A (円)</u> <u>L1、L2：賃料係数(表 4. 3)</u> <u>X：仮設材供用月数(月)</u> <u>A：仮囲いの面積 (m2)</u> <u>表4. 3 仮囲い仮設材の各賃料係数</u> <u>(1 m²当たり)</u> <table><tr><th>仮囲いのタイプ</th><th>L1</th><th>L2</th></tr><tr><td>Pタイプ</td><td>157</td><td>145</td></tr><tr><td>Wタイプ (枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>PWタイプ (枠組足場部(S₁))</td><td>449</td><td>318</td></tr><tr><td>Wタイプ (枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr><tr><td>PWタイプ (枠組足場以外(S₂))</td><td>137</td><td>206</td></tr></table>	仮囲いのタイプ	L1	L2	Pタイプ	157	145	Wタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318	PWタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318	Wタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206	PWタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206	(新設)
仮囲いのタイプ	L1	L2																		
Pタイプ	157	145																		
Wタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318																		
PWタイプ (枠組足場部(S ₁))	449	318																		
Wタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206																		
PWタイプ (枠組足場以外(S ₂))	137	206																		

	改正後	現 行
誤	<p>③設置（再設置含む。） 大型土のうを使用機械の作業半径内に設置する作業をいう。なお、撤去した既設大型土のうを再設置する作業を含む。</p> <p>製作現場と設置現場が異なる場合、撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。</p> <p>④撤去 撤去後の中詰材排出を含む。なお、排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は、別途計上する。 中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p> <p>⑤撤去（再利用） 既設大型土のうを再利用することを目的とした、撤去、仮置き作業をいう。 撤去、仮置き作業後、大型土のうの設置を行う場合は、別途「設置（再設置含む）」を計上する。 撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p>	(新設)

	改正後	現 行
正	<p>③設置（再設置含む。） 大型土のうを使用機械の作業半径内に設置する作業をいう。なお、撤去した既設大型土のうを再設置する作業を含む。</p> <p>製作現場と設置現場が異なる場合、撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。</p> <p>④撤去 撤去後の中詰材排出を含む。なお、排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は、別途計上する。 中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p> <p>⑤撤去（再利用） 既設大型土のうを再利用することを目的とした、撤去、仮置き作業をいう。 撤去、仮置き作業後、大型土のうの設置を行う場合は、別途「設置（再設置含む。）」を計上する。 撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。</p>	(新設)

誤

機種を選定		
工 種	機 械 名	規 格
製作・設置	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	油圧圧縮ジブ型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 25t 吊
製 作	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t
設置（再設置含む） 撤 去 撤去（再利用） 移設（撤去・再設置）	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 製作・設置における設置に使用する機械は、図3－1によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。
3 設置（再設置含む）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）の機械は、図3－2によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

機種を選定			
工 種	作業半径	機 械 名	規 格
（新設）			
製 作	二	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
設 置 撤 去	6m以下	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)
	6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
3 現場条件により、上記により難い場合は別途考慮する。

正

機種の選定		
工 種	機 械 名	規 格
製作・設置	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	油圧圧縮ジブ型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 25t 吊
製 作	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t
設置（再設置含む。） 撤 去 撤去（再利用） 移設（撤去・再設置）	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t
	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 製作・設置における設置に使用する機械は、図3－1によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。
3 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）の機械は、図3－2によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

現 行

機種の選定			
工 種	作業半径	機 械 名	規 格
（新設）			
製 作	二	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)
設 置 撤 去	6m以下	バックホウ（クレーン仕様）	超低騒音型・排出ガス対策型（第3 次基準値）クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)
	6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第3 次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊

備考 1 バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2 バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
3 現場条件により、上記により難い場合は別途考慮する。

	改正後	現 行
誤	<div>図3－2 機種の選定 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）</div> <div><div><div>設置・撤去高さ（m）</div><div><div>2m超</div><div>2m以下</div><div>0m</div><div>6m以下</div><div>6m超</div><div>20m以下</div><div>20m超</div></div><div><div>ラフテレーンクレーン25t吊</div><div>適用範囲外</div><div>作業半径（m）</div><div>適用範囲外</div></div></div><div><div>バックホウ（クレーン機能付き） 山積0.8m3吊能力2.9t</div></div></div>	(新設)
	<div>備考 1 作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。</div> <div>2 設置・撤去高さは、バックホウ（ラフテレーンクレーン）の設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置面の高さとする。</div> <div>3 機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。</div> <div>4 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。</div>	

	改正後	現 行
正	<div>図3－2 機種の選定 設置（再設置含む。）、撤去、撤去（再利用）、移設（撤去・再設置）</div> <div><div><div>設置・撤去高さ（m）</div><div><div>2m超</div><div>2m以下</div><div>0m</div><div>6m以下</div><div>6m超</div><div>20m以下</div><div>20m超</div></div><div><div>ラフテレーンクレーン25t吊</div><div>適用範囲外</div><div>作業半径（m）</div><div>適用範囲外</div></div></div><div><div>バックホウ（クレーン機能付き） 山積0.8m3吊能力2.9t</div></div></div>	(新設)
	<div>備考 1 作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。</div> <div>2 設置・撤去高さは、バックホウ（ラフテレーンクレーン）の設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置面の高さとする。</div> <div>3 機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。</div> <div>4 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。</div>	

誤

(4) 施工歩掛

1) 日当り編成人員は、次表を標準とする。

編成人員

(日当たり)

名 称	単位	製作・設置	製作	設置 (再設置含む)	撤去	撤去 (再利用)	移設 (撤去・再設置)
世 話 役	人	<u>1</u>	1	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>1</u>	1	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
山林砂防工(普通作業員)	〃	<u>1</u>	1	1	—	<u>二</u>	<u>1</u>

(削る。)

2) 日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
製作・設置	袋	<u>34(49)</u>
製 作	〃	<u>69</u>
設置(再設置含む)	〃	<u>77(66)</u>
撤 去	〃	<u>115(106)</u>
撤去(再利用)	〃	<u>147(136)</u>
移設(撤去・再設置)	〃	<u>69(62)</u>

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

3) 諸雑費

諸雑費は、製作・設置、製作の作業に必要な製作枠の損料、スコップ、ワイヤーロープ等の費用、設置(再設置含む)、撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)の作業に必要なワイヤーロープ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑费率

(%)

作業種別	諸雑费率
製作・設置	<u>1 (2)</u>
製 作	<u>2</u>
設置(再設置含む)	<u>0.2 (0.2)</u>
撤 去	<u>0.4 (0.4)</u>
撤去(再利用)	<u>0.5 (0.5)</u>
移設(撤去・再設置)	<u>0.2 (0.2)</u>

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

(5) 施工歩掛

1) 製作、設置、撤去作業を単独で行う場合の歩掛は以下とする。

編成人員

(日当たり)

名 称	単 位	製 作	設 置	撤 去
世 話 役	人	1	1	1
特 殊 作 業 員	〃	1	1	1
山林砂防工(普通作業員)	〃	1	1	—

備考 1 上表は、横取り作業(12mまで、制作現場～仮置場)を含む。

2 制作現場と設置現場が異なる場合は、積込み・荷卸し・運搬等必要な費用を別途計上する。

3 撤去には、中詰材排出を含む。

2) 日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
(新設)		
製 作	袋	<u>62</u>
設 置	〃	<u>86(80)</u>
撤 去	〃	<u>144(134)</u>
(新設)		
(新設)		

備考 1 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

2 袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。

3) 諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、製作の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑费率

(%)

諸雑费率	<u>1</u>
------	----------

正

(4) 施工歩掛

1) 日当たり編成人員は、次表を標準とする。

編成人員

(日当たり)

名 称	単位	製作・設置	製作	設置 (再設置含む。)	撤去	撤去 (再利用)	移設 (撤去・再設置)
世話役	人	1	1	1	1	1	1
特殊作業員	〃	1	1	1	1	1	1
山林砂防工(普通作業員)	〃	1	1	1	—	2	1

(削る。)

2) 日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
製作・設置	袋	34(49)
製 作	〃	69
設置(再設置含む。)	〃	77(66)
撤 去	〃	115(106)
撤去(再利用)	〃	147(136)
移設(撤去・再設置)	〃	69(62)

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

3) 諸雑費

諸雑費は、製作・設置、製作の作業に必要な製作枠の損料、スコップ、ワイヤーロープ等の費用、設置(再設置含む。)、撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)の作業に必要なワイヤーロープ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%)

作業種別	諸雑費率
製作・設置	1 (2)
製 作	2
設置(再設置含む。)	0.2 (0.2)
撤 去	0.4 (0.4)
撤去(再利用)	0.5 (0.5)
移設(撤去・再設置)	0.2 (0.2)

備考 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

現 行

(5) 施工歩掛

1) 製作、設置、撤去作業を単独で行う場合の歩掛は以下とする。

編成人員

(日当たり)

名 称	単 位	製 作	設 置	撤 去
世話役	人	1	1	1
特殊作業員	〃	1	1	1
山林砂防工(普通作業員)	〃	1	1	—

備考 1 上表は、横取り作業(12mまで、制作現場～仮置場)を含む。
2 制作現場と設置現場が異なる場合は、積込み・荷卸し・運搬等必要な費用を別途計上する。
3 撤去には、中詰材排出を含む。

2) 日当たり施工量

日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

工 種	単位	施 工 量
(新設)		
製 作	袋	62
設 置	〃	86(80)
撤 去	〃	144(134)
(新設)		
(新設)		

備考 1 ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。
2 袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は別途計上する。

3) 諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、製作の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%)

諸雑費率	7
------	---

第1編 共通工 第8 仮設工

8-9 大型土のう工 (5) 単価表

	改正後	現行
誤	(6) 単価表	(6) 単価表

	改正後	現行
正	(5) 単価表	(6) 単価表

誤

改正後

4) 大型土のう設置 (再設置含む) 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(4) - 1) (4) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	日	10/D	(4) - 2)
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(4) - 2)
諸 雑 費		式	1	(4) - 3)

備考 1 D：日当たり施工量
2 大型土のうを設置する機械は、図3－2によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

現 行

4) 大型土のう設置 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(5) - 1) (5) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク レ ー ン 仕 様)	超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)	日	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m 以下の場合
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m を超え 20m 以下の場合
諸 雑 費		式	1	(新設)

備考 D：日当たり施工量

正

改正後

4) 大型土のう設置 (再設置含む。) 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(4) - 1) (4) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	日	10/D	(4) - 2)
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(4) - 2)
諸 雑 費		式	1	(4) - 3)

備考 1 D：日当たり施工量
2 大型土のうを設置する機械は、図 3 - 2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

現 行

4) 大型土のう設置 10 袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	適 用
世 話 役		人	1×10/D	(5) - 1) (5) - 2)
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	1×10/D	〃
バ ッ ク ホ ウ (ク レ ー ン 仕 様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)	日	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m 以下の場合
ラフテレーンクレーン 賃 料	排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t	〃	10/D	(5) - 2) 作業半径 6 m を超え 20m 以下の場合
諸 雑 費		式	1	(新設)

備考 D：日当たり施工量

	改正後				現行			
誤	8) 機械運転単価表				6) 機械運転単価表			
	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	機械名	規 格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→63</u> <u>賃料数量→1.28</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u>	バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→104</u> <u>賃料数量→1.39</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u>
		標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	機－28	<u>〔設置(再設置含む)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→99</u> <u>賃料数量→1.23</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→101</u> <u>賃料数量→1.21</u> <u>〔撤去(再利用)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.38</u> <u>〔移設(撤去・再設置)〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.52</u>				<u>〔設置〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→94</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→78</u> <u>賃料数量→1.266</u>

	改 正 後				現 行			
正	8) 機械運転単価表				6) 機械運転単価表			
	機械名	規 格	適用単価表	指定事項	機械名	規 格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→63</u> <u>賃料数量→1.28</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→65</u> <u>賃料数量→1.36</u>	バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機－28	<u>〔製作・設置〕</u> <u>(バックホウによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→104</u> <u>賃料数量→1.39</u> <u>〔製作・設置〕</u> <u>(ラフテレーンクレーンによる設置)</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u> <u>〔製作〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→119</u> <u>賃料数量→1.44</u>
		標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	機－28	<u>〔設置(再設置含む。)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→99</u> <u>賃料数量→1.23</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→101</u> <u>賃料数量→1.21</u> <u>〔撤去(再利用)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.38</u> <u>〔移設(撤去・再設置)]〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→110</u> <u>賃料数量→1.52</u>				<u>〔設置〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→94</u> <u>賃料数量→1.36</u> <u>〔撤去〕</u> <u>運転労務数量→1.00</u> <u>燃料消費量→78</u> <u>賃料数量→1.266</u>

	改正後				現行			
誤	(3) 機械運転単価表				(3) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45

	改正後				現行			
正	(3) 機械運転単価表				(3) 機械運転単価表			
	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.54	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.54
	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47	バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.47
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械損料数量→1.56	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58 機械損料数量→1.56
	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45	バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	機－18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械損料数量→1.45

誤

	改正後	現行																														
	② 施工歩掛 天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。	② 施工歩掛 天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。																														
	表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）	表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）																														
	<table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>世話役</td><td>人</td><td>0.9</td></tr><tr><td>とび工</td><td>〃</td><td>3.2</td></tr><tr><td>山林砂防工 （普通作業員）</td><td>〃</td><td>1.0</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>9</td></tr></table>	名称	単位	数量	世話役	人	0.9	とび工	〃	3.2	山林砂防工 （普通作業員）	〃	1.0	諸雑費率	%	9	<table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>世話役</td><td>人</td><td>1.3</td></tr><tr><td>とび工</td><td>〃</td><td>3.4</td></tr><tr><td>(新設)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>8</td></tr></table>	名称	単位	数量	世話役	人	1.3	とび工	〃	3.4	(新設)			諸雑費率	%	8
	名称	単位	数量																													
	世話役	人	0.9																													
	とび工	〃	3.2																													
	山林砂防工 （普通作業員）	〃	1.0																													
	諸雑費率	%	9																													
	名称	単位	数量																													
	世話役	人	1.3																													
とび工	〃	3.4																														
(新設)																																
諸雑費率	%	8																														
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ）</u> 等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <u>なお、諸雑費には、供用中の手すり仮設材の損料を含むものとする。</u>	(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり、単管パイプ、クランプ等</u> の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。																															
表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）	表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）																															
<table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>世話役</td><td>人</td><td>2.7</td></tr><tr><td>とび工</td><td>〃</td><td>6.2</td></tr><tr><td>山林砂防工 （普通作業員）</td><td>〃</td><td>5.5</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>20</td></tr></table>	名称	単位	数量	世話役	人	2.7	とび工	〃	6.2	山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.5	諸雑費率	%	20	<table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>世話役</td><td>人</td><td>2.7</td></tr><tr><td>とび工</td><td>〃</td><td>5.8</td></tr><tr><td>山林砂防工 （普通作業員）</td><td>〃</td><td>5.4</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>23</td></tr></table>	名称	単位	数量	世話役	人	2.7	とび工	〃	5.8	山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.4	諸雑費率	%	23	
名称	単位	数量																														
世話役	人	2.7																														
とび工	〃	6.2																														
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.5																														
諸雑費率	%	20																														
名称	単位	数量																														
世話役	人	2.7																														
とび工	〃	5.8																														
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.4																														
諸雑費率	%	23																														
(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>足場仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板）</u> 、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <u>なお、諸雑費には、供用中の足場仮設材の損料を含むものとする。</u>	(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、 <u>手すり、単管パイプ、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等</u> の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。																															

正

改正後

② 施工歩掛

天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。

表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世話役	人	0.9
とび工	〃	3.2
山林砂防工 （普通作業員）	〃	1.0
諸雑費率	%	9

（注） 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、諸雑費には、供用中の手すり仮設材の損料を含むものとする。

表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世話役	人	2.7
とび工	〃	6.2
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.5
諸雑費率	%	20

（注） 諸雑費は、インパクトレンチ、足場仮設材（単管パイプ（手すり部含む）、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板）、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、諸雑費には、供用中の足場仮設材の損料を含むものとする。

現行

② 施工歩掛

天端の手すり及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、表4． 3、表4． 4を標準とする。

表4． 3 天端の手すりの設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世話役	人	1.3
とび工	〃	3.4
(新設)		
諸雑費率	%	8

（注） 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり、単管パイプ、クランプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4． 4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛（100m当たり）

名称	単位	数量
世話役	人	2.7
とび工	〃	5.8
山林砂防工 （普通作業員）	〃	5.4
諸雑費率	%	23

（注） 諸雑費は、インパクトレンチ、手すり、単管パイプ、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

誤

改 正 後					現 行					
	(2) 敷均し (機械) 100 m ² 当たり単価表				(1) 砂利舗装工 (機械) 100 m ² 当たり単価表					
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
	世 話 役		人		表4. 4	世 話 役		人		表4. 2
	普 通 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃
	舗 設 材		m ³		式5. 1	舗 設 材		m ³		式5. 1
	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	h		表4. 4	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.20 m ³)	h		表4. 2
	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.13 m ³ (平積 0.10 m ³)	日		〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.13 m ³ (平積 0.10 m ³)	日		〃
	(削る。)	(削る。)	(削る。)		(削る。)	振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第3次基準値) コンバインド型 3～4t	〃		表4. 4 必要に応じ計上
	振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		表4. 8	〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
	計					計				

正

改正後

(2)敷均し（機械）100 m²当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		表4. 4
普 通 作 業 員		〃		〃
舗 設 材		m ³		式5. 1
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型（2014 年規制） 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ）	h		表4. 4
小 型 バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	クローラ型 排出ガス対策型（第2 次基準値） 山積 0.13 m ³ （平積 0.10 m ³ ）	日		〃
（削る。）	（削る。）	（削る。）		（削る。）
振 動 ロ ー ラ 運 転	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		表4. 8 必要に応じ計上
計				

現 行

(1)砂利舗装工（機械）100 m²当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		表4. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
舗 設 材		m ³		式5. 1
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2 次基準値）クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.20 m ³ ）	h		表4. 2
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2 次基準値）クローラ型 山積 0.13 m ³ （平積 0.10 m ³ ）	日		〃
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型（第3 次基準値）コンバインド型 3～4t	〃		表4. 4 必要に応じ計上
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
計				

	改正後	現 行
誤	<p>(2) 施工概要</p> <pre>graph TD A[機材搬入] --> B[橋台橋脚の高さ2m以上 登り 栈橋工] A --> C[支承仮置] B --> C C --> D[主桁搬入] D --> E[主桁仮置] E --> F[地組工] F --> G[主桁架設] G --> H[足場設置] H --> I[第三者に危害を及ぼす 恐れがある 防護工設置] H --> J[ボルト本締] I --> J J --> K[支承据付] K --> L[落橋防止装置取付] L --> M[合成床版の場合 合成床版工] L --> N[RC床版の場合 足場又は防護工撤去] M --> N N --> O[機材搬出]</pre> <p>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>(2) 施工概要</p> <pre>graph TD A[機材搬入] --> B{橋台・橋脚の 高さ2m以上} B -- Yes --> C[登り 栈橋工] B -- No --> D[地組工] C --> E[支承仮置] E --> F[主桁架設] F --> G[足場設置] G --> H{第三者に危害を及ぼす 恐れがある。} H -- Yes --> I[防護設置] H -- No --> J[ボルト本締] I --> J J --> K[支承据付] K --> L[落橋防止装置取付] L -- 合成床版の場合 --> M[合成床版工] L -- RC床版の場合 --> N[足場又は防護工撤去] M --> N N --> O[機材搬出]</pre> <p>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>

	改 正 後	現 行
正	<div>(2) 施工概要</div> <div><pre>graph TD A[機材搬入] --> B[登り棧橋工] A --> C[支承仮置] B --> C C --> D[主桁搬入] C --> E[主桁仮置] D --> F[地組工] E --> F F --> G[主桁架設] G --> H[足場設置] H --> I[防護工設置] H --> J[ボルト本締] I --> J J --> K[支承据付] K --> L[落橋防止装置取付] L --> M[合成床版工] L --> N[RC床版の場合] M --> O[足場又は防護工撤去] N --> O O --> P[機材搬出]</pre></div> <div>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</div>	<div>(2) 施工概要</div> <div><pre>graph TD A[機材搬入] --> B{橋台・橋脚の 高さ 2 m 以上} B -- Yes --> C[登り棧橋工] B -- No --> D[地組工] C --> E[支承仮置] E --> F[主桁架設] F --> G[足場設置] G --> H{第三者に危害を及 ぼす恐れがある。} H -- Yes --> I[防護設置] H -- No --> J[ボルト本締] I --> J J --> K[支承据付] K --> L[落橋防止装置取付] L -- 合成床版の場合 --> M[合成床版工] L -- RC床版の場合 --> N[足場又は防護工撤去] M --> N N --> O[機材搬出]</pre></div> <div>備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</div>

	改 正 後	現 行
誤	(13) (略)	(13) (略)

正

改 正 後

(13) 架設用機械設備及び工具の供用日数等
架設用機械設備及び工具の供用日数等は、次表を標準とする。これにより難い場合は、別途考慮する。

設備及び工具の供用日数等

設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移 動 式 ク レ ー ン	移動式クレーン	架設用	(A又はA＋B) (×1.4)
		合成床版用	J (×1.4)
		作業用	(C＋D＋I)
	移動式クレーンによるステージング	架設用	(A又はA＋B) (×1.4)
		合成床版用	J (×1.4)
		作業用	(C＋D＋E＋I)
	ケーブルクレーン	補助	(F＋I)
ケ ー ブ ル ク レ ー ン	ケーブルクレーンによるステージング	補助	(F＋I)
	ケーブルエレクション	補助	(G＋I)
ケ ー ブ ル ク レ ー ン	ケーブルクレーン	(A＋B＋C＋D＋F＋H)×1.7	
	ケーブルクレーンによるステージング	(A＋B＋C＋D＋E＋F＋H)×1.7	
ケ ー ブ ル エ レ ク シ ョ ン		(A＋B＋C＋D＋G＋H)×1.7	
ベ ン ト		(A＋B＋C＋E＋H)×1.7	
架設工具(組立用工具及びボルト締付用工具)		(A＋B＋C＋D＋E＋(F又はG)＋H＋J)×1.7	
ドリフトピン及び仮締ボルト		(A＋B＋C＋(F又はG)＋H)×1.7	
発 動 発 電 機		(A＋B＋C＋E＋(F又はG)＋H)×1.7	

A～J (略)

備考 1 (略)

2 作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数をA＋Bとする。

3 作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで架設用クレーン又は合成床版用クレーンが80t吊以上の場合は、運転日数に () 内の係数を乗じる。

4・5 (略)

6 発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれる。

7・8 (略)

(削る。)

9 (略)

現 行

(13) 架設用機械設備及び工具の供用日数等
架設用機械設備及び工具の供用日数等は、次表を標準とする。これにより難い場合は、別途考慮する。

設備及び工具の供用日数等

設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移 動 式 ク レ ー ン	移動式クレーン	架設用	(A又はA＋B) (×1.4)
		合成床版用	J (×1.4)
		作業用	(C＋D＋I)
	移動式クレーンによるステージング	架設用	(A又はA＋B) (×1.4)
		合成床版用	J (×1.4)
		作業用	(C＋D＋E＋I)
	ケーブルクレーン	Ⅱ	(F＋I)
ケ ー ブ ル ク レ ー ン	ケーブルクレーンによるステージング	Ⅱ	(F＋I)
	ケーブルエレクション	Ⅱ	(G＋I)
ケ ー ブ ル ク レ ー ン	ケーブルクレーン	(A＋B＋C＋D＋F＋H)×1.7	
	ケーブルクレーンによるステージング	(A＋B＋C＋D＋E＋F＋H)×1.7	
ケ ー ブ ル エ レ ク シ ョ ン		(A＋B＋C＋D＋G＋H)×1.7	
ベ ン ト		(A＋B＋C＋E＋H)×1.7	
架設工具(組立用工具及びボルト締付用工具)		(A＋B＋C＋D＋E＋(F又はG)＋H＋J)×1.7	
ドリフトピン及び仮締ボルト		(A＋B＋C＋(F又はG)＋H)×1.7	
発 動 発 電 機		(A＋B＋C＋E＋(F又はG)＋H)×1.7	

A～J (略)

備考 1 (略)

2 移動式クレーン工法で地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数をA＋Bとする。

3 移動式クレーン工法で80t吊以上の架設用クレーンを使用する場合は、() 内の係数を乗じる。

4・5 (略)

6 発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれるため、賃料のみ計上する。

7・8 (略)

9 高力ボルトを使用する場合は、締付けトルクを自動的に記録する必要がある場合は高力ボルト締付け自動記録計を計上するものとする。

10 (略)

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 土工 ⑨ 人力による切土整形

	改正後	現行
誤	⑨ 人力による築立（土羽）整形	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
正	61m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
誤	30m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (軟岩（Ⅰ）B、軟岩（Ⅱ）、中硬岩、硬岩)	
	作業日当たり標準作業量	
正	61m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (砂・砂質土、粘性土、礫質土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）A)	
	作業日当たり標準作業量	
誤	30m2/日	(新設)
	作業名	
	人力による切土整形 (軟岩（Ⅰ）B、軟岩（Ⅱ）、中硬岩、硬岩)	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 土工 ⑭ 骨材再生工（自走式） 自走式破碎機設置・撤去工

	改正後	現行
誤	⑭ 骨材再生工（自走式）	(新設)
	作業名	
	設置	
	撤去	
正	0.29日/回	(新設)
	作業名	
	自走式破碎機設置・撤去工	
	作業日当たり標準作業量	
誤	3.4回/日	(新設)
	作業名	
	設置又は撤去	
	作業日当たり標準作業量	
正	1.7回/日	(新設)
	作業名	
	設置・撤去	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（Ⅰ）（法面工等） ⑳ コンクリート吹付工

	改正後	現行
誤	㉑ コンクリート吹付工	(新設)
	作業名	
	吹付厚	
	作業日当たり標準作業量	
正	106m2/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	
誤	70m2/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	
正	53m3/日	(新設)
	作業名	
	コンクリート吹付工	
	作業日当たり標準作業量	

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑪ 基礎・裏込・中詰 (砕石・栗石) 工 (人力施工) 裏込 (人力施工)

	改 正 後			現 行			
誤	⑪ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 裏込（人力施工）			（新設）			
	作業名	かき込み・敷き均し				築立て・敷並べ	
		切込砂利・クラッシャー等	栗石・割栗石			栗石・割栗石	
	裏込	(5.0m3/日)	(4.3m3/日)			1.8m3/日	
		4.5m3/日	3.7m3/日				

改 正 後				現 行	
正	⑪ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 裏込（人力施工）			（新設）	
	作業名	かき込み・敷き均し			築立て・敷並べ
		切込砂利・クラッシャー等	栗石・割栗石		
	裏込	(5.0m3/日)	(4.3m3/日)		1.6m3/日
		4.5m3/日	3.7m3/日		

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑫ 基礎・裏込・中詰 (砕石・栗石) 工 (人力施工) 中詰 (人力施工)

	改 正 後		現 行
誤	⑫ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 中詰（人力施工）		（新設）
	作業名	築立て・敷並べ	
		栗石・割栗石	
	基礎	1.6m3/日	

			改 正 後		現 行	
正	⑫ 基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工） 中詰（人力施工）				（新設）	
	作業名	築立て・敷並べ				
		栗石・割栗石				
	中詰	1.6m3/日				

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ⑬ 落石防止網 (ロックネット) 設置工 簡易ケーブルクレーン (1.0 t 吊) 設置・撤去

	改 正 後		現 行
誤	②③ 落石防止網（ロックネット）設置工 簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去		（新設）
	作業名	作業日当たり標準作業量	
	簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去	とび工 1 人・山林砂防工 1 人編成の場合	
		とび工 10 人・山林砂防工 10 人編成の場合	
		0.05 基/日	

	改 正 後		現 行
正	⑬ 落石防止網（ロックネット）設置工、簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去		（新設）
	作業名	作業日当たり標準作業量	
	簡易ケーブルクレーン（1.0 t 吊）設置・撤去	0.5 基/日	

第4編 作業日当たり標準作業量
2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ③⑦ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工

	改正後	現行
誤	③⑦ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工	(新設)
	作業名	
	作業日当たり標準作業量	
	井桁ブロック控長 (m)	
	0.7 以上 1.3 未満1.3 以上 2.0 未満2.0 以上 3.0 未満	
正	現場打基礎コンクリート打設工（人力打設）	(新設)
	31m2/日	
	3m2/日	
	4m2/日	

第4編 作業日当たり標準作業量
2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ③⑧ 井桁ブロック土留工 圧送管組立・撤去工

	改正後	現行
誤	③⑧ 井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工	(新設)
	作業名	
	作業日当たり標準作業量	
	組立労務撤去労務	
	圧送管組立・撤去	
正	③⑧ 井桁ブロック土留工 圧送管組立・撤去工	(新設)
	作業名	
	作業日当たり標準作業量	
	組立労務撤去労務	
	圧送管組立・撤去	

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ④④ かご工 (B) 機械中詰

		改 正 後					現 行	
正	④④ かご工（B） 機械中詰						(新設)	
	作業名	網目 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)	作業日当たり標準作業量		
	かご工 (B) 機械中詰	13	50	120	2	4.8 枚/日		
					3	3.2 枚/日		
					4	2.5 枚/日		
		13	60	120	2	4.2 枚/日		
					3	2.9 枚/日		
					4	2.2 枚/日		

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工 (2) (土留工・擁壁工等) ④5 かご工 (B) 人力中詰

改 正 後						現 行	
正	④⑤ かご工（B） 人力中詰					(新設)	
	作業名	網目 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)		作業日当たり標準作業量
	かご工 (B) 人力中詰	13	50	120	2		2.4 枚/日
					3		1.6 枚/日
					4		1.3 枚/日
		13	60	120	2		2.1 枚/日
					3		1.4 枚/日
					4		1.1 枚/日

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ④⑤ かが枠工

	改 正 後				現 行			
誤	④⑥ <u>かご枠工</u>				(新設)			
	<u>作業名</u>	<u>幅</u> (cm)	<u>長さ</u> (cm)	<u>作業日当たり標準作業量</u>				
	<u>かご枠工</u>	<u>80</u>	<u>詰石</u>	<u>41m/日</u>				
			<u>詰土</u>	<u>45m/日</u>				
		<u>120</u>	<u>詰石</u>	<u>31m/日</u>				
			<u>詰土</u>	<u>35m/日</u>				

	改 正 後				現 行			
正	④⑥ <u>かが枠工</u>				(新設)			
	<u>作業名</u>	<u>幅 (cm)</u>	<u>材料</u>	<u>作業日当たり標準作業量</u>				
	<u>かが枠工</u>	<u>80</u>	<u>詰石</u>	<u>41m/日</u>				
			<u>詰土</u>	<u>45m/日</u>				
		<u>120</u>	<u>詰石</u>	<u>31m/日</u>				
			<u>詰土</u>	<u>35m/日</u>				

第4編 作業日当たり標準作業量

2. 作業日当たり標準作業量 工事名 共通工（2）（土留工・擁壁工等） ⑤③ 目地・止水板設置工 目地板設置

	改 正 後	現 行
誤	53 目地・止水板設置工 目地板設置	(新設)
	作業名 作業日当たり標準作業量	
	目地板設置 7.6m3/日	

	改 正 後		現 行	
正	53 目地・止水板設置工 目地板設置		(新設)	
	作業名	作業日当たり標準作業量		
	目地板設置	9m2/日		

2章 共通工 ⑭排水構造物工

3. 施工パッケージ 3-3 暗渠排水溝

誤

改正後

3－3 暗渠排水管
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3． 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費			
据付	直管	(略)				
	網状管	50～150mm	(略)			
		200～400mm	(略)			
		(削る。)	(削る。) (削る。)			
	波状管	50～150mm	要 不要			
		200～400mm	要 不要			
		450～600mm	要 不要			
		100～1,000mm	要 不要			
		1,000～1,500mm	要 不要			
		撤去	直管	(略)	－	
			網状管	50～150mm		
				200～400mm		
	(削る。)					
	波状管		50～150mm			
200～400mm						
450～600mm						
100～1,000mm						
1,000～1,500mm						
据付・撤去	直管	(略)				
	網状管	50～150mm	(略)			
		200～400mm	(略)			
		(削る。)	(削る。) (削る。)			
	波状管	50～150mm	要 不要			
		200～400mm	要 不要			
		450～600mm	要 不要			
		100～1,000mm	要 不要			
		1,000～1,500mm	要 不要			
		(注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の据付、継手の取付（波状管及び網状管の場合）、運搬距離 60m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。				
		2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の据付は別途考慮する。				
		3 (略)				
	4. 波状管、網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。					
	5・6 (略)					

現行

3－3 暗渠排水管
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3． 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費	
据付	直管	(略)		
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)	
		200～400mm	(略)	
		450～600mm	要 不要	
	(新設)	(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
	撤去	直管	(略)	－
		波状管及び網状管	50～150mm	
200～400mm				
450～600mm				
(新設)		(新設)		
		(新設)		
	(新設)			
	(新設)			
据付・撤去	直管	(略)		
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)	
		200～400mm	(略)	
		450～600mm	要 不要	
	(新設)	(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	
		(新設)	(新設) (新設)	

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	<u>特殊作業員</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 450～600mm の場合
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合</u>
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 1,000mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合</u>
	Z 2	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>管種別が波状管及び網状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	—	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合
		（新設）	（新設）
		（新設）	（新設）
	Z 2	—	（新設）
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

正

改正後

3－3 暗渠排水管

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据付	直管	(略)	
	網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		(削る。)	(削る。)
	波状管	50～150mm	要
			不要
		200～400mm	要
			不要
		450～600mm	要
			不要
		700～1,000mm	要
			不要
		1,100～1,500mm	要
			不要
撤去	直管	(略)	—
	網状管	50～150mm	
		200～400mm	
		(削る。)	
	波状管	50～150mm	
		200～400mm	
		450～600mm	
		700～1,000mm	
		1,100～1,500mm	
据付・撤去	直管	(略)	
	網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		(削る。)	(削る。)
	波状管	50～150mm	要
			不要
		200～400mm	要
			不要
		450～600mm	要
			不要
		700～1,000mm	要
			不要
		1,100～1,500mm	要
			不要

(注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の据付、継手の取付（波状管及び網状管の場合）、運搬距離 60m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の据付は別途考慮する。

3 (略)

4. 波状管、網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。

5・6 (略)

現行

3－3 暗渠排水管

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据付	直管	(略)	
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		450～600mm	要
	(新設)		不要
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
撤去	直管	(略)	—
	波状管及び網状管	50～150mm	
		200～400mm	
		450～600mm	
	(新設)	(新設)	
		(新設)	
		(新設)	
		(新設)	
		(新設)	
据付・撤去	直管	(略)	
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		450～600mm	要
	(新設)		不要
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)
			(新設)
		(新設)	(新設)

(注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の敷設、継手の取付（波状管及び網状管の場合のみ）、運搬距離 100m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の敷設は別途考慮する。

3 (略)

4. 波状管及び網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。

5・6 (略)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	<u>特殊作業員</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 450～600mm の場合
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合</u>
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 1,200mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合</u>
	Z 2	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>管種別が波状管及び網状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	—	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合
		（新設）	（新設）
		（新設）	（新設）
	Z 2	—	（新設）
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

4 章 河川海岸 ①消波根固めブロック工
3. 施工パッケージ 3-5 消波根固めブロック据付け (2) 代表機労材規格

誤

改正後

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 35 t 吊	賃料
		（削る。）	（削る。）
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
		潜水送気員	据付の場所が「水中」の場合
	材料	Z 1	連結金具(根固めブロック用) φ 16mm
Z 2		<u>軽油</u> <u>パトロール給油</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
Z 3		－	
Z 4		－	
市場単価		S	－

現 行

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(新設)	(新設)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 35 t 吊	賃料
		<u>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 45 t 吊</u>	<u>賃料</u>
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	(新設)	(新設)
		潜水送気員	据付の場所が「水中」の場合
	材料	Z 1	連結金具(根固めブロック用) φ 16mm
Z 2		＝	(新設)
Z 3		－	
Z 4		－	
市場単価		S	－

	改 正 後			現 行		
正	(2) 代表機労材規格 (略)			(2) 代表機労材規格 (略)		
	表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧			表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧		
	項目		代表機労材規格	備考	項目	
	機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>	機械	K 1
			ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 25 t 吊	賃料		
			ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 35 t 吊	賃料		
			（削る。）	（削る。）		
			ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 50 t 吊	賃料		
	K 2	－				K 2
	K 3	－				K 3
	労務	R 1	普通作業員		労務	R 1
		R 2	土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合		R 2
			潜水士	据付場所が「水中」の場合		
		R 3	特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合		R 3
			潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合		
		R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>		R 4
			潜水送気員	据付の場所が「水中」の場合		
	材料	Z 1	連結金具(根固めブロック用) φ16mm		材料	Z 1
		Z 2	<u>軽油</u> <u>パトロール給油</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ（H）「－3 m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>		Z 2
		Z 3	－			Z 3
		Z 4	－			Z 4
	市場単価	S	－		市場単価	S